





令和4年度 地震防災強化月間 実施項目一覧（重点項目・・・太枠）

（1） 自助

① 自宅での生活継続を図るための取組

	推進事項	実施事例(周知に使えるコンテンツを紹介)
【住居】	<p>住宅の耐震化</p>  <p>(耐震ナビ)</p>	<p>[静岡県木造住宅耐震補強 IT ナビゲーション 耐震ナビ] 県・市町の相談窓口や耐震診断や耐震補強工事の補助制度等を紹介</p>  <p>無料の耐震診断は令和6年度、耐震補強工事の補助は令和7年度で終了します。 早めに市町窓口へ相談しましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>県内耐震化率 89.3% (H30 住宅・土地統計調査より推計)</p> </div>
	<p>家具の固定</p>  <p>(家庭内DIG)</p>	<p>[家庭内D I G] 地震が来ても我が家で暮らす方法の実践のすすめ</p>  <p>震度6以上では、ほとんどの物が倒れ、場合によっては大きく跳び、凶器に変わってしまいます。 近年発生した災害において、ケガの原因の約30%～50%が家具類の転倒・落下・移動によるものといわれています。 我が家の危険度をチェックし、家具の固定や配置換えなどを行ってみましょう</p>
	<p>住居周りのブロック塀の点検</p>  <p>(ブロック塀の点検)</p>	<p>[ブロック塀の点検と改善] ブロック塀の点検方法や改善方法、補助制度の窓口を紹介</p>  <p>過去の地震では、倒壊したブロック塀や石塀の下敷きになり、多くの方が死傷しています。 家のブロック塀を点検し、危険と判断された場合は、作り替えや改善をしましょう。</p>

	推進事項	実施事例(周知に使えるコンテンツを紹介)
【備蓄】	家庭内の1週間分の生活物資の備蓄  (食料・水備蓄)	[食料・水 ローリングストックリーフレット] ローリングストックによる1週間分の食料備蓄の紹介  大規模地震直後は、物流がストップすることが予想されるため、まず家庭で、食料・水を1週間程度は備える必要があります。しかし、非常食を7日分備蓄するのは大変です。そこで、災害時の備蓄は、体調維持も踏まえ、「食べ慣れた食品」を活用し、ローリングストックで備えましょう！
	携帯トイレの備蓄  (携帯トイレ備蓄)	[携帯トイレの備蓄リーフレット] 携帯トイレの備蓄の必要性や活用方法の紹介  食べること、飲むことと「排せつすること」はセットです。水道が止まったら、下水道が破損したら、トイレは使えません！トイレを気持ち良く使うことができないと、体調を崩したり、災害関連死につながる可能性もあります。自分と家族を守るため、「携帯トイレ」も備蓄しましょう！

	推進事項	実施事例(周知に使えるコンテンツを紹介)
【確認】	ハザードマップ等を確認  (防災アプリ) ※防災アプリは多言語に対応しています。	[県総合防災アプリ『静岡県防災』] (以下、「防災アプリ」と記載) 地震(揺れ)、津波、洪水、土砂災害に関する情報を一元的かつ手軽に確認  ハザードマップや避難場所・避難所避難所などを地図で確認できます。また、河川の水位情報や危険度を確認することもできます。
	家族の安否確認方法・集合場所のルール作り	防災アプリで家族の安否を確認  安全確認用コンテンツも充実しています。「設定メニュー」→「安否登録」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害用伝言板 (Web171) ・ 安否登録・確認 (Google パーソンファインダー)

	<p>推進事項</p> <p>災害種別に応じた適切な避難行動の理解促進</p>  <p>(DIG)</p>	<p>実施事例(周知に使えるコンテンツを紹介)</p> <p>[DIG (災害図上訓練)]</p> <p>地域に起こるかもしれない災害を、より具体的なものとしてとらえることができるゲーム型訓練の紹介</p> <p>Disaster (災害)、Imagination (想像力)、Game (ゲーム) の略</p>  <p>ハザードマップやまちあるきで地域の状況を確認し、避難経路や防災対策について家族で話し合ってみましょう！</p>				
<p>【確認】</p>	<p>南海トラフ地震臨時情報</p>  <p>(南海トラフ地震臨時情報)</p>	<p>[南海トラフ地震臨時情報]</p> <p>南海トラフ沿いで大規模な地震が発生する可能性が高まった場合に発表される「南海トラフ地震臨時情報」について紹介</p>  <p>〔過去事例〕</p> <table border="1"> <tr> <td>1854年 安政東海地震 M8.6</td> <td>1944年 昭和東南海地震 M8.2</td> </tr> <tr> <td>約32時間後 M8.7 1854年 安政南海地震</td> <td>約2年後 M8.4 1946年 昭和南海地震</td> </tr> </table> <p>※Mはモーメントマグニチュード ※西側で先に大規模地震が発生する可能性もあります。</p>	1854年 安政東海地震 M8.6	1944年 昭和東南海地震 M8.2	約32時間後 M8.7 1854年 安政南海地震	約2年後 M8.4 1946年 昭和南海地震
1854年 安政東海地震 M8.6	1944年 昭和東南海地震 M8.2					
約32時間後 M8.7 1854年 安政南海地震	約2年後 M8.4 1946年 昭和南海地震					
	<p>特別警報</p>  <p>(特別警報)</p>	<p>[命を守るために知ってほしい「特別警報」]</p> <p>「特別警報」について紹介</p> <p>命を守るために知ってほしい 「特別警報」</p> <p>「特別警報」は、「東日本大震災」や「伊勢湾台風」といった、誰もが一度は聞いたことがあるような大災害が起こるおそれがあるときに、住民の皆さんに最大限の警戒を呼びかけるものです。特別警報が発表された場合は、お住まいの地域ではこれまで経験したことのないような非常に危険な状況にありますので、ただちにお住まいの市町村の避難情報に従うなど、適切な行動をとってください。</p> <p>ただし、特別警報が発表されない場合でも災害が発生するおそれがあるので、警報や注意報、その他防災気象情報等の把握に努めてください。</p>  <p>インデックス</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「警報」とは何が違うの？ 2. 「特別警報」はいつ発表されるの？ 3. どうやって伝えられるの？ 4. 特別警報が発表されたらどうすればいいの？ 				

	推進事項	実施事例(周知に使えるコンテンツを紹介)
	<p>避難情報</p>  <p>(避難情報)</p>	<p>[避難情報に関するガイドライン] 警戒レベルと避難情報について紹介</p>  <p>自分の命を守るため、「避難指示」が出たら、必ず避難しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町は危険な場所からの避難のタイミングとして、警戒レベル4「避難指示」を発令します。 ・災害が発生・切迫し、警戒レベル4での避難場所等への避難が安全にできない場合には、自宅や近隣の建物で緊急的に安全確保するよう促すため、警戒レベル5「緊急安全確保」を発令します。 ・避難行動要支援者は、警戒レベル3の「高齢者等避難」で安全な場所に避難しましょう。
【確認】	<p>自然災害から命を守るために</p>  <p>(政府広報)</p>	<p>[自然災害から命を守るため、知っておいてほしいこと] 防災・減災に役立つコンテンツをテーマ別・災害別に紹介</p> 





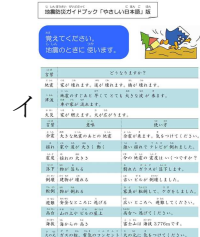





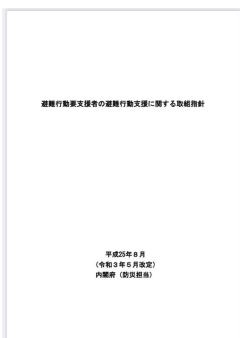
② 命を守る行動に繋げるための取組




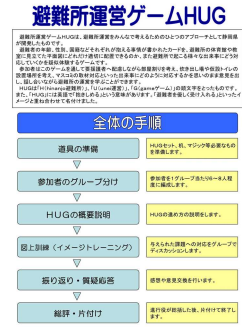
	推進事項	実施事例(周知に使えるコンテンツを紹介)
	<p>一人ひとりの避難計画「わたしの避難計画」</p>  <p>(避難計画)</p>	<p>一人ひとりの避難計画「わたしの避難計画」 「わたしの避難計画」の概要や作成方法を紹介</p>  <p>身の回りの災害リスクに備えて、「どのタイミング」で「どこに」避難するか、あらかじめ整理したものです。前もって、「わたしの避難計画」を作成し、目のつく場所に貼っておくことで、いざというときの避難に役立ちます。家族で話し合っって作成してみましょう。</p>
【点検】	<p>避難シミュレーション</p>  <p>(防災アプリ 避難トレーニング)</p>	<p>「避難トレーニング機能」 防災アプリで避難トレーニングを実践</p>  <p>個人や家族で実際にやってみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難先までの経路や時間 津波到達アニメーションで経路の再確認 
	<p>「まち歩き」の実践</p>  <p>(まち歩きシム)</p>	<p>「防災まち歩きシミュレーション」 静岡県と包括連携協定を結んでいる東京海上日動制作のHPを紹介</p>  <p>親子で自宅や通学路などの探検をして、まちの中にどんな危険があるか確認してみましょう。</p>








(2) 共助

① 地域の防災力を底上げするための取組

	推進事項	実施事例(周知に使えるコンテンツを紹介)
	地域防災活動とは  (マニュアル)  (防災ナビ)	[地域防災活動マニュアル、ふじのくに防災ナビ] 「地域防災活動マニュアル」と「ふじのくに防災ナビ」で地域防災活動について紹介   <div data-bbox="1136 369 1513 683" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 地域防災活動の手引書である「地域防災活動マニュアル」には、自主防災組織の体制や平常時の防災活動、災害発生時の対応などを掲載しています。マニュアル等を活用して、地域防災力を向上しましょう。 </div> ※地域防災活動マニュアルは、「自主防災組織活動マニュアル(2013作成)」の名称を「地域防災活動マニュアル」と変更し、内容を更新したものです。
	地域体制の確認	自主防災組織、消防団、学校、事業所等など、この機会にお互いで、連絡体制を確認してみましよう。 ○非常時の連絡先(電話番号やメールアドレス)の再確認 等
【体制】	自主防災組織本部体制の強化  (防災アプリ)  (自主防災組織向け機能説明動画)  (自主防災組織向けカルテ説明動画)	[防災アプリで自主防災組織体制を強化] ア 自主防災組織簡易評価カルテ(新規取組) ・自主防災組織の防災力を個別にチャート化し、「自主防災組織簡易評価カルテ」として結果をフィードバック ・今後の取組へのアドバイスや優良事例などの参考情報を確認 イ 防災アプリアンケート機能 アンケート機能を活用し、行政と各自主防災組織間で情報共有 ウ 防災アプリ投稿機能 気象・災害の情報や避難場所の情報を映像と合わせて投稿し、利用者で共有 <div data-bbox="673 1317 1369 1639" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <div data-bbox="1161 1317 1369 1639" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 気象・災害の情報 2022-08-14 11:24:31 投稿者ID 22305000999 組織名 松崎町関係者市町その他  浸水・冠水の状況 家が浸水している コメント 豊見地区 住宅浸水 ウ </div> </div>

	推進事項	実施事例(周知に使えるコンテンツを紹介)
	<p>様々な人がともに助け合う防災体制</p>  <p>(男女共同参画)</p>	<p>[男女共同参画の視点からの防災手引書ダイジェスト版] 男女双方の視点を取り入れた防災体制づくりと避難所の運営を紹介</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>男女が共に支え助け合う防災体制を築くことで、被害を最小限にとどめ、困難を減らすことができます。</p> <p>日頃から男女双方の視点を取り入れ、地域の防災体制づくりや避難所運営等を考えていきましょう。</p> </div>
<p>【体制】</p>	<p>様々な人がともに助け合う防災体制</p>  <p>(外国人住民向け)</p>	<p>[外国人住民のためのガイドブック] 避難生活の様子や地震の基礎知識などを紹介</p> <p>ア 外国人住民のための避難生活ガイドブック イ 地震防災ガイドブック「やさしい日本語」版</p>   <p>「英語版」「ポルトガル語版」「フィリピン語版」「インドネシア語版」「ベトナム語版」「やさしい日本語版」の6種類を発行しています。</p>
	<p>協働による自主防災組織の活性化</p>  <p>(協働)</p>  <p>(企業の地域貢献)</p>	<p>[協働による自主防災組織の活性化のための取組]</p> <p>ア 協働(コラボレーション)による自主防災組織の活性化をめざして</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>地域の防災人材や消防団など防災に関する専門的な知識と経験を有する方と協働(コラボレーション)して組織を活性化させましょう</p> </div> <p>イ 企業の持つ『組織力』『資材力』『技術力』を生かした地域貢献</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>お住まいの地域にある企業に目を向けてみませんか？企業には、多彩な従業員と組織力、日常の業務で使用している資器材や商品、日常の業務で培った知識や技術がありますので、企業と防災協定などを結び、災害時に連携しましょう</p> </div>  
<p>【支援】</p>	<p>避難行動要支援者の所在の把握と支援方法の確認</p>  <p>(避難行動要支援者)</p>	<p>[避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針]</p> <p>避難行動要支援者名簿とは、避難行動要支援者の生命・身体を災害から保護するために必要な措置を実施するための基礎となる名簿です。</p> <p>名簿の作成とともに、地域の特性や実情を踏まえつつ、名簿情報に基づき、市町や民生委員、社会福祉協議会、自主防災組織・自治会、福祉事業者等が中心となって避難行動要支援者と打ち合わせ、個別計画を策定しましょう。</p> <p>普段から住民同士が顔の見える関係を構築し、避難行動要支援者が地域で孤立することを防ぎ、地域にとけ込んでいくことができる環境づくりに努めることが、発災時の円滑かつ迅速な避難支援に繋がります。</p> 

	推進事項	実施事例(周知に使えるコンテンツを紹介)
<p>【運営】</p>	<p>ペット同行避難</p>  <p>(ペットの地震対策)</p>	<p>[避難所のペット飼育管理ガイドライン] 避難所運営本部と飼い主に向けに役割やルールなどを記載</p>  <p>災害時、飼い主は、原則としてペットと同行避難をする必要があります。 また、同行避難後、自宅損壊等により在宅避難ができない場合、避難所のペット飼育場所において、飼い主自身が全責任を持って飼育管理することが原則となります。 飼い主の方は、ペットの安全と健康を守るとともに、他者への迷惑にならないように日頃からの備えに努めましょう。</p>
<p>【訓練】</p>	<p>防災訓練の実施</p>  <p>(マニュアル)</p>	<p>[地域防災活動マニュアル] 各種防災訓練の内容について紹介</p>  <p>地域防災活動マニュアルの32ページから69ページに、訓練についての説明が掲載されています。 地域の特性にあった防災訓練を実践しましょう。</p>
<p>【訓練】</p>	<p>自主防災組織本部体制の確認訓練</p>  <p>(イメージTEN)</p>	<p>[イメージTEN (自主防災組織災害対応訓練)] 災害時の自主防災組織の対応を考える訓練 Image (想像) Training (訓練) & Exercise (演習) of Neighborhood (隣近所) の略</p>  <p>災害時に、自主防災組織がどのように対応したらいいかを具体的に考えるイメージトレーニングです。 イメージする課題が最大10題付与されることも「TEN」の由来です。 ※1人では難しいシミュレーションです。 複数人で実施する際は感染症対策をしましょう。</p>
<p>【訓練】</p>	<p>避難所運営体制の確認訓練</p>  <p>(避難所運営ゲーム(HUG))</p>	<p>[避難所運営ゲーム(HUG)] 避難所運営を疑似体験する図上訓練 「H(hinanjo 避難所)」「U(unei 運営)」「G(game ゲーム)」の頭文字を表す。</p>  <p>様々な事情を抱えた避難者が避難してくる状況の中、各種イベントへの対応も含め、避難所運営をどのようにしたらいいかを具体的に考える疑似体験ゲームです。 「HUG」は英語で「抱きしめる」という意味があり、避難者をやさしく迎え入れてほしいとの願いが込められています。 ※1人では難しいシミュレーションです。 複数人で実施する際は感染症対策をしましょう。</p>

	推進事項	実施事例(周知に使えるコンテンツを紹介)
	地域で避難訓練  (津波避難トレーニング動画)	[避難トレーニング機能] (再掲) 防災アプリで避難トレーニングを実践  <ul style="list-style-type: none"> ※感染症対策を実施しながら、地域の方々と一緒に避難訓練を行ってみましょう。 ・避難先までの経路や時間 ・津波到達アニメーションで経路の再確認
	地域の安否確認体制の確認  (富士宮市の取組例)	[安否確認訓練] 家族が無事であることを、お知らせするシンプルな方法、それが「黄色いハンカチの掲示」です。 今一度実践してみましょう。 ※実践については、お住まい市町へお問い合わせください。 
【訓練】	若年世代の地域防災の取組への参加 <div data-bbox="327 1030 550 1209" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 中・高校生の地域防災訓練への参加の促進を含む </div>  (防災教育動画)	[防災教育ポータル] (国土交通省HPより) 防災に関するコンテンツを活用し、若年世代を対象とした防災教育を実施 <div data-bbox="590 1064 1013 1310" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  <p>油断しないで、低い場所に住んでいる人はできるだけ高いところに逃げようね。</p> </div> <div data-bbox="590 1355 1013 1657" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  <p>さいがいみ 災害から身をまもる 国土交通省 関東地方整備局</p> </div> <div data-bbox="1029 1064 1492 1332" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>防災教育に取り組んでいただく際に 役立つ情報・コンテンツとして、国土交通省の最新の取組内容や授業で使用できる教材例・防災教育の事例などを紹介したものです。</p> </div> <div data-bbox="1029 1355 1492 1736" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>大学生や若年層の方々は、地域の活動や防災訓練などへの参加を通じて、地域との関係を深めることにより、災害時には支援者としての活動が期待されます。学校等との連携や、興味を持って参加できるように楽しめる訓練を開催することも考えてみましょう。</p> </div>